

学 力 試 験

[試験時間120分]

〈助産学専攻科〉

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、1 ページから10ページまでです。
- 3 解答用紙は4枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

学力試験問題

問題1 小児の身体の特徴について、正しいものには○、誤っているものには×を、記入しなさい。

1. 大泉門は生後6か月までに閉鎖する。
2. 乳児は、主に鼻呼吸を行っている。
3. 小児は、成人と比べて体液における細胞外液の割合が高い。
4. 乳児の1日必要水分量は、80ml/kg/日である。
5. 液状のもの以外が口唇の間に入ると舌先で押し出す反射を舌挺出反射という。

問題2 小児の疾患と症状について、正しいものには○、誤っているものには×を、記入しなさい。

1. 胆道閉鎖症の乳児の便の色は灰白色である。
2. 肥厚性幽門狭窄症の場合、溢乳がみられる。
3. ファロー四徴症にみられる無酸素発作は、起床時によくおこる。
4. イチゴ舌は、手足口病でみられる症状である。
5. 粘血便は、腸重積症でみられる症状である。

問題3 小児の発達理論について、正しいものには○、誤っているものには×を、記入しなさい。

1. エリクソン(Erikson, EH.)によると、1~3歳の発達課題は基本的信頼である。
2. ピアジェ(Piaget, J.)によると、11~15歳の認知は形式的操作位相である。
3. 生後1年間の児と養育者の愛着形成を理論化したのはボウルビィ(Bowlby, J.)である。
4. オレム(Orem, DE.)は、児のセルフケアを親が代わりに行うという能力形態を依存的セルフケア・エージェンシーといている。
5. エリクソン(Erikson, EH.)は、各発達段階での人間関係形成能力に応じた自我の発達過程を理論化した。

問題4 児童福祉法における対象年齢について、正しいものを一つ選び、その番号を記入しなさい。

1. 15歳未満
2. 16歳未満
3. 18歳未満
4. 20歳未満

問題5 定期予防接種の対象疾患で、正しい答えの組み合わせを一つ選び、その番号を記入しなさい。

- a. 水痘
- b. 流行性耳下腺炎
- c. ロタウイルス感染症
- d. 肺炎球菌感染症

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問題6 子どもの運動機能の発達について、正しいものを一つ選び、その番号を記入しなさい。

1. 身体の下部から頭部の方向に進む。
2. 全身的な動きから細かな動きへ進む。
3. 新生児期には遺伝より環境の影響を受ける。
4. 反射運動は乳児期から幼児期後期にかけて活発になる。

問題7 体重10パーセンタイル値の説明について、正しいものを一つ選び、その番号を記入しなさい。

1. 1か月前と比べ体重が10%増加した。
2. 同年齢で同性の児の平均体重よりも10%軽い。
3. 同年齢で同性、同じ身長の子の体重と比べて10%軽い。
4. 同年齢で同性の児100人のうち、10番目に軽い体重である。

問題8 次の文を読み【問1】，【問2】，【問3】に答えなさい。

Aちゃん、9歳の女兒。学校の健康診断で尿糖を指摘され、受診。

受診時、血糖400mg/dl、HbA1C 9.3%、尿糖4+、尿ケトン体+で、1型糖尿病と診断され入院した。

食事は1800kcal、インスリン注射を各食前と就寝前、および血糖測定を各食前後と就寝前、という医師の指示がでた。最初はインスリン注射と血糖測定を嫌がって泣いていたが、病気や治療法についての学習を始めたら泣かなくなった。

【問1】 入院時にみられる可能性が低い症状はどれか。一つ選びその番号を記入しなさい。

1. 倦怠感
2. 浮腫
3. 多飲
4. 多尿

【問2】 入院7日目から、インスリン自己注射の練習を開始した。Aちゃんはスムーズに操作していたが、いざ大腿部に穿刺する段階になると怖がって穿刺できない。このとき適切な介入はどれか。一つ選びその番号を記入しなさい。

1. できるようになるまで退院できないと説明する。
2. インスリン注射の必要性をもう一度説明する。
3. 入院中は保護者に注射してもらうことを提案する。
4. 自己注射をしている他児と話をする機会を設ける。

【問3】 血糖値も安定してきた頃、23時に児が「お腹が空いて目が覚めた」とナースステーションに来た。血糖を測定したところ70mg/dlだった。空腹以外の症状はないとのことだった。このとき適切な対応はどれか。一つ選びその番号を記入しなさい。

1. 再び眠たくなるまで児の話を聞いてあげる。
2. 砂糖を10g溶かした白湯を飲んで寝るよう指導する。
3. ビスケットを3枚食べて寝るよう指導する。
4. 他の低血糖症状が出てきたらもう一度来るよう指導する。

問題9 次のうち、正しい答えの組み合わせを一つ選び、その番号を記入しなさい。

- a. 児童虐待の件数は、児童虐待防止法が制定されたあと、年々減少している。
- b. 特定妊婦は、出産後の養育に支援を行うことが必要と認められた妊婦をさす。
- c. 不妊の原因は、排卵因子、男性因子、卵管因子の3つに分類される。
- d. 思春期に多い月経困難症は、器質性月経困難症である。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問題10 新生児について、誤っている答えの組み合わせを一つ選び、その番号を記入しなさい。

- a. 大豆大の境界不鮮明な紅斑に粟粒大の丘疹を新生児中毒性紅斑という。
- b. 正常新生児の保育環境は、肌着1~2枚を着せて、至適温度は28~30℃である。
- c. 新生児の尿量は、生後24時間以降で1ml/体重(kg)/時間以上が正常である。
- d. 新生児の体温の正常範囲は腋下温(皮膚温)で36.0~37.0℃である。

1. a, b 2. a, c 3. b, d 4. c, d

問題11 産褥期について、正しいものには○、誤っているものには×を、記入しなさい。

- 1. マタニティブルーズは、産後7~10日以内にみられ、強い抑うつ感がある。
- 2. 母乳に含まれるタンパク質は、おもにラクトアルブミンとカゼインである。
- 3. 産褥1週間以内に起こりやすい乳房痛の原因は、急性化膿性乳腺炎である。
- 4. 乳頭の刺激によって乳汁が乳管に排出される反射を吸啜反射という。
- 5. 乳汁は、産褥2日ごろから水溶性半透明の初乳が分泌される。

問題12 分娩期について、正しいものには○、誤っているものには×を、記入しなさい。

- 1. 分娩時の子宮収縮、軟産道開大、会陰の伸展などによる痛みを陣痛という。
- 2. 胎児の低酸素状態が、長く続くと胎児血のpHは低下する。
- 3. 児頭が骨盤内に進入する際、冠状縫合は骨盤入口面横径に一致する。
- 4. 分娩室で正期産児を対象に出生直後に行う皮膚接触を早期母子接触という。
- 5. 児頭が圧迫され、頭皮と骨膜の間にうっ血や血漿の滲出を頭血腫という。

問題13 妊娠期について、正しい答えの組み合わせを一つ選び、その番号を記入しなさい。

- a. 妊娠24週の胎児の大きさは600~800g、子宮底の高さは臍高である。
- b. 胎児と母体の位置関係で、児背が母体の右側に向かうと第1胎向という。
- c. 妊娠中の血糖の目標値は食前110mg/dl、食後2時間値で140mg/dl以下である。
- d. 妊娠22週以降の分娩経験をもつ女性を経産婦という。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問題14 生殖器について、正しいものには○、誤っているものには×を、記入しなさい。

- 1. 卵巢から分泌されるホルモンは、エストロゲンである。
- 2. 子宮は、骨盤内で膀胱の前方、直腸の後方に位置する。
- 3. 卵巢は、卵子の発生・成熟、排卵を行う生殖器である。
- 4. 卵管は、左右一対で子宮卵管角から出て、腹腔に開口する臓器である。
- 5. 黄体は、排卵前に卵胞を構成していた細胞が分化した、黄体細胞である。

問題15 母子保健について、正しい答えの組み合わせを一つ選び、その番号を記入しなさい。

- a. 2010年、総合的かつ長期的な少子化に対処するための指針として新しい少子化社会対策大綱が策定された。
- b. 産後ケア事業は、出産後、母体の身体的機能の回復や育児の不安が強く、特に指導が必要な母親へ必要な看護を行いながら育児指導を行い支援する。
- c. 育児ストレスや産後うつ病、育児ノイローゼなどの問題によって、家庭内での育児に関する援助を訪問により実施することを養育支援訪問事業という。
- d. 1975年以降、出生時体重は男児女児共に年々減少しており、低出生体重児の占める割合は増加傾向にある。

1. a, b 2. a, c 3. b, c 4. b, d

問題16 次の文を読み【問1】、【問2】、【問3】に答えなさい。

Bさんは、42歳の初産婦、妊娠経過は正常であった。妊娠38週5日、10分ごとの規則的な陣痛があり、夫と共に病院を受診する。子宮口5cm開大しており、入院となった。妊娠38週6日、会陰切開を行い2974gの女児を分娩した。分娩時の所要時間は、第1期13時間25分、第2期2時間15分、第3期7分、分娩第4期までの出血量は467gであった。

【問1】分娩時のアセスメントで適切でない組み合わせを一つ選び、その番号を記入しなさい。

- a. Bさんの出血量はやや多いが、分娩時異常出血ではない。
- b. 分娩所要時間は、15時間40分である。
- c. 分娩経過がフリードマン曲線から逸脱して、分娩が遷延していた。
- d. 新生児は低出生体重児である。

1. a, b 2. a, c 3. c, d 4. b, d

【問2】産褥2日目。Bさんの全身観察では、体温37.2℃、収縮期血圧120mmHg、拡張期血圧68mmHg、脈拍72回/分。子宮底は臍下三横指で硬くふれる。悪露は赤色少量、後陣痛なし。乳房のはりは、軽度あり、乳房の熱感はある。乳頭は硬く、新生児が吸啜すると痛みがある。この情報から適切な看護はどれか、一つ選びその番号を記入しなさい。

- 1. 授乳前に乳頭マッサージをおこなうことを説明する。
- 2. シャワー浴を中止し、清拭を行う。
- 3. 乳房の冷罨法を行う。
- 4. 授乳を中止し、安静が必要であることを説明する。

【問3】生後3日目。新生児の全身観察の結果、体温37.0℃、心拍数138回/分、呼吸数45回/分、体重2658g、血清ビリルビン15.3mg/dl。啼泣が少なく、授乳時にもすぐ寝てしまう。この情報から適切な新生児のアセスメントはどれか、一つ選びその番号を記入しなさい。

- 1. 生理的体重減少率は、8.9%である。
- 2. 体温は、正常を逸脱している。
- 3. 母乳黄疸のため、直接授乳を中止する。
- 4. 新生児の体内で生成されたビリルビンを尿や便での排泄を促す必要がある。

問題17 次のうち、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

1. 病原微生物を死滅させることを消毒という。
2. ベッドの横に下肢をおろして膝関節を屈曲させて坐った体位を半坐位という。
3. 浣腸を実施する際に左側臥位にすると浣腸液が腸内に浸潤しやすい。
4. 睡眠は脳波のパターンにより2種類に分類されており、深い眠りはレム睡眠という。
5. 皮膚の弱い人に適用するとよい洗浄剤はアルカリ性の洗浄剤である。

問題18 次のうち、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

1. 誤嚥しにくい姿勢は、顎を引いた姿勢（うなずく姿勢）である。
2. 意識障害の患者でも嚥下障害がなければ経口与薬を行ってよい。
3. ストレッチャーで平坦なところを移送する場合は、頭から進むとよい。
4. 服用しにくい内服薬は舌の中央部にのせる。
5. トレンデレンブルグ位は血圧を低下させる。

問題19 次のうち、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

1. 不快指数80.2は、不快を感じる環境である。
2. 誤嚥による肺炎は、右肺に起こりやすい。
3. 入浴方法で、心臓や肺に負担がかからず効果的な入浴方法は全身浴である。
4. 幅の狭いマンシェットを用いた場合、最高血圧は本来より低くなる。
5. 成人の多尿の基準は、2500ml/日以上である。

問題20 尿閉について、正しいのはどれか、一つ選びその番号を記入しなさい。

1. 排尿中に突然尿の流出が止まる状態。
2. 排尿開始時または排尿中に腹圧をかけて、いきまなければ排尿できない状態。
3. 膀胱中に尿が充満しているが、排尿できない状態。
4. 尿意を覚え排尿を試みるが、排尿までに時間を要する状態。

問題21 以下の対象者の体位で、適切なものを一つ選びその番号を記入しなさい。

1. 神経原性ショックでは、ファウラー位とする。
2. 心原性ショックでは、水平仰臥位とする。
3. うっ血性心不全により呼吸困難を伴っている場合は、右側臥位とする。
4. 循環血液量減少性ショックでは、腹臥位とする。

問題22 右季肋部痛が特徴的な疾患はどれか、一つ選びその番号を記入しなさい。

1. 胆石症
2. 十二指腸潰瘍
3. 急性虫垂炎
4. 腸閉塞

問題23 感染について正しい答えの組み合わせはどれか、一つ選びその番号を記入しなさい。

- a. 感染しても宿主に抵抗力が備わっていて発症しない場合を不顕性感染という。
- b. 微生物には増殖に酸素の必要な好気性菌と、増殖に酸素を必要としない嫌気性菌が存在する。
- c. 病原微生物の伝播経路は、空気感染、媒介物感染、飛沫感染の3つである。
- d. 病原微生物のみを死滅、除去させることを滅菌という。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問題24 次の文を読み【問1】、【問2】、【問3】、【問4】に答えなさい。

C氏（左半身麻痺、関節拘縮がある人）55歳、男性、右脳梗塞

<既往歴>

45歳で高血圧を指摘され内服治療中であった。

<現病歴>

夕食時に茶碗を落とし、左半身に麻痺が出現し、言葉がもつれて聞き取れなくなった。すぐに近医を受診し脳CTにて右脳梗塞と診断され入院となる。

<現在の状態>

約1ヶ月の保存療法（降圧剤と抗血栓薬の薬物治療）で状態は安定し落ち着いてきて退院が近い。身長165cm、体重75kg。意識レベル2点、構音障害があり判断力、記憶力は低下している。起き上がり動作は、右手で柵を持ったり紐を引っ張ることで可能であるが、坐位バランスは不良で左へ傾く。車椅子へは部分的な介助で移乗できる。リハビリテーションでは立位練習をしている。理学療法、作業療法、言語療法へは車椅子で移動している。常に依存的であり、意欲の低下がみられる。

食事（高血圧食）はセッティングすれば右手で摂取ができる。麻痺があるため水分摂取が思うようにできない。清潔は週2回の入浴を部分介助と見守りで実施し、入浴日以外は清拭をしている。「入院前は毎日髪を洗っていたけど、入院してからはお風呂の日だけしか洗ってもらえない」と不満を訴える。排泄は、オムツを着用している。夜間は20時頃から熟睡している。

家族は、50歳妻（専業主婦）、息子夫婦、孫2人と同居。C氏は会社員で、カラオケが趣味で社交的であるが体を動かすのは「面倒くさい」と言う。後遺症が残ると医師から説明され「手や足が動かないのは辛い。もうすぐ退院だけど、家へ帰っても家族に迷惑をかけるし外出もできない」と悲観的な言動が見られる。家族の面会は1回/週、妻が洗濯物を取りにくる。

【問1】C氏の病状について適切なアセスメントとケアはどれか、一つ選びその番号を記入しなさい。

- a. 再梗塞予防のために安静保持に努める。
- b. 日中は可能な限り車椅子に移乗し活動を促し生活リズムを整える。
- c. 移動動作時や座位バランスが悪いので転倒転落を起こさないように留意する。
- d. C氏が動きたくないと言うときには、本人の意思を尊重しそっとしておく。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問2】C氏は左半身麻痺の後遺症が残ると医師から説明され悲観的になっている適切な看護はどれか、一つ選びその番号を記入しなさい。

1. 「大丈夫、麻痺は元に戻りますよ。」という。
2. 「辛いですね。」とC氏の辛い思いを傾聴し共感する。
3. 「リハビリテーションを頑張っていたら早く退院できますよ。」と早期退院を促す。
4. 「そんな弱気になっていたら回復が遅れますよ。」という。

【問3】C氏は左半身麻痺があり、ボディイメージの変化をきたしている。日頃から、家族以外の人には会いたくないと言っている。ある日、会社の同僚と名乗る人が面会に来たいという電話があった。看護師として最も適切な電話対応はどれか、一つ選びその番号を記入しなさい。

1. 看護師の判断で、面会時間であれば面会できると説明する。
2. C氏の受け持ち看護師がわかりやすく病状を説明し面会を断る。
3. C氏に電話に出てもらい、C氏自身に面会の可否を伝えてもらう。
4. 妻に電話をかけて面会の可否について、確認してもらうように説明する。

【問4】C氏の現在の病状について、生活機能レベルの低下を科学的視点でアセスメントし、生活援助を行う際の留意点について、500字以内で簡潔明瞭に説明しなさい。

学力試験 解答

問題 1

1	2	3	4	5
×	○	○	×	○

問題 2

1	2	3	4	5
○	×	○	×	○

問題 3

1	2	3	4	5
×	○	○	○	×

問題 4

3

問題 5

2

問題 6

2

問題 7

4

問題 8

問 1	問 2	問 3
2	4	3

問題 9

3

問題 10

3

問題 11

1	2	3	4	5
×	○	×	×	○

問題 12

1	2	3	4	5
×	○	×	○	×

問題 13

2

問題 14

1	2	3	4	5
○	×	○	○	×

問題 15

4

問題 16

問 1	問 2	問 3
4	1	4

問題 17

1	2	3	4	5
○	×	○	×	×

問題 18

1	2	3	4	5
○	×	×	○	×

問題 19

1	2	3	4	5
○	○	×	×	○

問題 20

3

問題 21

2

問題 22

1

問題 23

1

問題 24

問 1	問 2	問 3
3	2	4

問4

【解答例】

脳梗塞で約1ヶ月の①保存的治療を行い脳外科的には安定した状態である。しかし、②左半身麻痺があり、使わないことにより関節の可動域が制限され、拘縮、筋力の低下もみられているが肩関節の脱臼は見られていない。また、③健側の筋力も低下しており、意欲の低下もあるため、自発的活動が低下することが予想される。

ベッド上のADLは利き手で積極的に行うことにより、さらに拡大が図れると思われる。④座位になるときは麻痺側の肩関節を固定し脱臼を予防する。さらに、座位バランスが不良で左に傾くため、ギヤッジ座位では安定させるよう枕などで保護を確実にし、座位の時間を延長していく。⑤入浴時は、立位の移動の難しさ、滑りやすさに注意すること、高血圧による脱衣所と浴室の温度差を5℃以内に保持し安全の確保が必要である。また、⑥飲水の不足により脱水傾向に傾き、脳の再梗塞を危険性が高くなる。十分な水分補給により予防することが必要である。

平成 31 年度 助産学専攻科入学試験（面接試験問題）

- 問 1. 周産期において、夫が父親になるための準備としてどのような支援が考えられますか。あなたの考えを具体的に述べてください。
- 問 2. 看護学実習の中で、あなたが受け持った対象者（家族）に“寄り添えた”と思った場面がありますか。どのようなことでしょうか。具体的に説明して下さい。また、あなた自身のどのようなかかわり方が“寄り添える”ことにつながったと考えますか。
- 問 3. 地震などの自然災害に備えて、あなた自身が日頃考えていることや行っていることはありますか。また、あなたが住んでいる地域で災害が起こった時に、子育て中の母子に対してあなた自身はどのような行動をとりますか。

各々の質問に対する評価視点

※問 1～問 3 に関する質問に、アドミッションポリシーに基づき、【意欲・積極性】【理解力・判断力】【表現力・説明力】の評価視点で A～D の 6 段階で総合的に評価する。

- 問 1. 入学後、助産師として広い視野で助産学を追求しようとしているかについて確認する。

アドミッションポリシー 1：看護学の基盤を有し、助産学を追求する姿勢を持っている人

- 問 2. 助産師として自身の行動に責任を持ち、いのちに真摯に向き合えるかどうかを問う。

アドミッションポリシー 2：自分の行動に責任を持ち、生命の誕生に真摯に向き合える人

- 問 3. 助産師を目指す者にとって、自身が暮らしている地域社会の母子に目を向けているかどうかについて問う。

アドミッションポリシー 3：助産師として、地域で生活している母子の健康に貢献することを目指す人